

あおばっ子ゆうゆうプラザ

会場	開設	令和4年度の活動状況				
		参加人数			開設期間 曜日・数	講座数
あおば 小学校	H20. 6	子ども (参加率)	実施委員	サポーター	6/23~2/16 木曜14日 土曜0日 合計14日	8
		118人 (54.1%)	11人	50人		

1. 「令和4年 コロナ禍でのゆうゆうも15年目」= 実施委員長 不破 康史
今年度も6月23日の開校式で、117名の児童と共にゆうゆうプラザがスタート。

「もう15年も経ったの」というのが、開設当初から一緒に汗を流してきたスタッフの感想でしょう。最初の数年は、講座数を増やすこと、それに伴いサポーターを集めること、また児童の参加率を気にするなど、私たちは余計な気苦労をしていたように思います。

今、スタッフは既にベテランの域に入っていますが、「実年齢マイナス10歳が高齢者の体力・気力年齢」との話を真に受けると皆60歳代で働き盛りとなります。今しかできないことが「ゆうゆうプラザ」の活動であり、そのことが私達の日常生活を豊かにしてくれていると感じています。しかし残念なのは、いつかこのステージから退場しなくてはならない時期が来るということです。

私にとってゆうゆうプラザの活動は、近所の孫の世話をしているようなもので、中には憎まれ口をいう子(親の顔が見てみたい)もいれば、人なつっこい子、言うことを聞かない子がいる、それを自分の孫と比べて見て考えさせられたりしますが、楽しいものです。

このような有意義で楽しい場所があることを、いかに知ってもらい、学校デビューしてもらえるかが今後の課題です。

2. 「未来を創る あおばっ子ゆうゆう」= 青葉小学校長 白石 昌孝

ゆうゆうプラザに参加する子供たちの様子を1年間見てきて、子供たちが本当にゆうゆうプラザを楽しんでいることが表情や姿からよく分かります。『純粹に自分の好きなことを夢中で取り組む』、これが子供たちの本来持つ姿であり、まさにこのゆうゆうプラザがその場になっています。そして、そこにもう一つの大事なこと、「人との関わり」があります。学年も違う仲間との関わり、そして、ゆうゆうプラザのスタッフの皆様(地域の方々)との関わりです。これは、コロナの状況の有無に関わらず、これからの未来を自分らしくたくましく生きていく上で欠かすことができません。ともに活動する中で、自然に人との関わりを学んでいます。今は気づいていないかもしれませんが、これから生きていく中で、ふとした時に「ゆうゆうプラザで遊んだな」「色々な人と一緒に楽しかったな」と思い出すことでしょう。今も、そして、これからもずっと大事なものが「ゆうゆうプラザ」にはあります。

子供たちの未来のために、『ゆうゆうプラザ』を創っていただいている実施委員、サポーターの皆様へ深く感謝申し上げます。

3.【取組み状況】

おおぼっ子は、子供たちに背中を押されながら15年目を迎えました。

実施に当たり、オミクロン株の感染拡大も危惧され、3密に配慮した活動に絞りました

15年の推移 初年度 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目 13年目 14年目 15年目

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
参加児童	133	150	124	118	113	111	131	150	150	124	145	114	98	108	117
参加率		43%	35%	34%	32%	34%	40%	47%	47%	43%	51%	43%	41%	49%	51%
サポート	74	68	73	71	65	62	60	60	60	60	50	50	50	50	50
実施委員	16	19	17	14	13	14	14	14	14	12	13	13	15	15	11

活動講座の変遷

講座名	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
学 習	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
理科遊び					---	---	---	---	---	---	---	休止			
料 理		---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	休止			
昔遊び				---	---	---	---	---	---	---	---	---	休止		
なわとび				---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
折り紙		---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
絵手紙				---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
大正琴															休止
ドッジボール	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	最長	---	---	---	---
サッカー	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	休止
テニス		---	---	---	---	---	---	---	---	---	復活	---	---	---	休止
つなひき				---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	休止
算数遊び	---														
英会話		---	---	---											
ビュート		---	---	---											
点 字	---	---	---												
木工作	---	---	---	---	---										
あみもの	---														
小さい子と遊ぶ	---	---	---												
茶 道			---	---											
手 品				---	---	---	---	---							
スポーツ吹き矢	---	---	---	---											
ヨサコイ	---	---	---	---											
剣詩舞		---	---												
フラダンス			---	---											
バスケットボール							---	---	---	---	---	---	---	---	---
バドミントン	---	---	---	---	---	---	---								
卓 球	---	---	---	---											
書 道											新規	---	---	---	---
将 棋											新規	---	---	---	---
楽しいダンス											新規	---	---	---	---
活動講座計	15	16	15	14	13	12	13	12	12	11	15	12	11	10	8

4. [活動の紹介]



ドッジボールはいつも人気講座



折り紙は岩木先生が熱心に
教えます



校長先生とけん玉楽しいな



将棋は吉岡先生が指導



雨の日は廊下でゲームをします



絵手紙は人気で長寿講座に

5. [活動の成果と課題]

1) 活動にあたって検討したこと(特に学校と)

- ① 感染予防対策(青葉小の新しい生活様式)を基本に行動する
- ② 3密を考慮した講座開設
- ③ 活動場所の適正配置
- ④ 学校との連携重視(児童の欠席状況や、学級閉鎖状況等)
- ⑤ 指導者の予防接種徹底(インフルエンザも含めて協力依頼)
- ⑥ 活動を停止することでのゆうゆう維持の難しさ(サポーター、スタッフ、学校のイメージ低下)

2) 15年目の青葉小活動環境の弱み

- ① スタッフやサポーターの多くが設立当時 60歳前後の団塊の世代に依存している。(精神的にも経済的にも安定している世代)⇒後期高齢者層に突入
- ② 地域性もあると思われるが、共働き世帯が多く保護者層にサポーターが育っていない。(PTAにあまり期待できず)
- ③ 高齢化と共に、感染症対策への心配もあり、講座の継続維持も課題として残っている。

3) いま、このような閉塞感いっぱいの時こそ、児童が屋外で目いっぱい遊ぶ、また地域のおとなと交流し、何かを学ぶ良い機会だと思う。

- ① 講座を集約し、校庭、体育館を有効利用した活動方法を検討する。
- ② 成果発表や展示の機会・場所を提供する。(授業参観との連動)

4) 反省も含め、20年目を目指し活動と人心の一新(対外試合、校外活動、校外見学も視野に入れる)に挑戦したいと思う。



先生二人で、生徒は一人です



バスケットは川久保先生の熱血指導



ダンスは今年も大人気